

下田通信

ソーシャルファームさんじょう活動報告



六月号

2016年6月23日(木)

下田地域で活動する私達は、福沢集落のお招きを受けて意見交換会に伺いました。手作りのおにぎり、おしんこ、どれも真心のこめられた愛情溢れる一品をご用意していただき、最高のおもてなしをしていただきました。

福沢集落は現在、九世帯しかなく、うち二世帯は一人暮らしという構成です。過疎



福沢集落にて手作り料理でのおもてなし。どれも優しい味わいで一同感動

福沢集落意見交換会



意見交換会の一コマ。地域に貢献できることを話し合う。

化現象が進み、現在では六十歳でも地域では若手の部類。地域の未来を見出す事は本当に難しい。それでも自分たちが暮らす、愛する地域のため、何より少なからずいる子供達の未来を創るためにはどうしたら良いのか。と全員が真剣に人生をかけて考えています。それだけに、わたしたち地域おこし協力隊メンバーにかけられる期待も非常に大きなものがあると感じました。今回も自分たちからアプローチをかけたわけではなく、集落のほうからアプローチを受けました。ここに地域活性化のヒント、地域おこし協力隊制度を活用した地域創生の成功のヒントがあるような気がします。

地域おこし協力隊として集まってきたメンバーが地域にアプローチをかける事はも

NPO法人 ソーシャルファームさんじょうの活動目的

私たちは現在、下田地域を「スポーツ」「農業」「アート」などで活性化させるプロジェクトに取り組んでいます。目標は、2020年東京オリンピックまでにあらゆる体験合宿の聖地にする事。合宿地や観光地としての知名度を向上させる為に地域の皆様と協力し、下田の魅力を発掘する事を日々の糧に取り組んでいます。

ちろん大切です。でも今回の福沢集落のように、地域の方からアプローチをかける事もそれと同じくらい、いやもしかしたらそれ以上に大切な事ではないでしょうか。どちらが上とか下とか、どちらが何かをしなければいけない、という事はない。お互いがお互いを理解しようと努力しその積み重ねでお互いにとってメリットのある事を生み出す。今回の福沢集落からのアプローチはそれを実感させてくれる出来事でした。

一期一会の出会いを大切に、自分が暮らす地域をみなでよくする。未来を担う子供達のためにできる事は何かを真剣に考える。そこに移住者、既住者の垣根はないはず。そのなかで自分たち「ヨソ者」だからこそできる事を真剣に考え、実践し、自分が暮らす地域のために何かしら貢献できたらこれほど幸せな事はないと思っています。

(会津 泰成)



旧荒沢小学校お掃除イベント

旧荒沢小学校体育館での参加者による「雑巾がけレース」体育館全体を一気に拭きあげる様子は圧巻だ



子供達による清掃の様子。校舎が嬉しそうだ。

こんにちは！お掃除大好き大滝です。
 六月十二日(日)、私たちが拠点として活動している旧荒沢小学校の大掃除を行いました！普段私たちも毎日掃除しておりますが、隅々までは手が届きません・・・そこで、地域のみなさんに協力していただいで一斉に掃除を行うことにしました！
 旧荒沢小学校区の方々を中心に周知し、いざ当日を迎えてみたところ、なんと五十名以上の地域住民の方々にご参加頂き、私たち地域おこし協力隊も含めるとジャスト六十名のイベントに！
 また今回、学校の美化はもちろん、旧荒沢小学校に共通の目的で集まってもらい、地域住民同士で交流を深めてもらおうといった意図もありました。掃除であれば老若男女誰でもできるので、集まる目的にはもってこい。そして交流といえば肝心なのは食事。今回



慰労会はすいとん汁で舌鼓。

は慰労会料理に定評のある(と個人的に思っている)荒沢若衆会に協力を依頼して、全員のすいとん汁も作っていただきました。
 初回ということで、お掃除は集中力の続く一時間に限定。最初はたいした掃除はできないと思っていました。
 しかしこれだけの大人数です！始まってみるとどんどん掃除が進み、一時間たつてみるとほこりとり、窓拭き、ぞうきんがけ等、あっという間にお掃除完了しました。
 最後は体育館で参加者全員参加の雑巾がけレース。たった一往復で雑巾がけ完了です。素晴らしい。
 終わったあとはこれまた全員で美味しすぎるすいとん汁をいただいであっという間に大掃除は完了です。
 今回のイベントは初めての試み。どれだけの人が集まるかも、短時間で掃除が終わるのかもわかりませんが、終わってみれば初回としては大成功だったと思います(私の仕切り以外は・・・汗)。
 ご参加いただいた皆さん、並びに今回で協力いただいた皆さん本当にありがとうございました！
 (大滝 雄斗)